平成23年度 事業評価(事業活動記録)

事業No. 738

政策体系 25 事業分類		ソフト事業	所管部员	教育委員会 社会教育課			
会 計	一般会計 科 目 10. 教育費 - 5. 社会教 - 5. 文化財 現年						
事 業 名	埋蔵文化財調査事業						
細事業名	細事業名 発掘調査八木地区						
			ᆓᄺᆂᄹᆇᆇ	松本禾具人 打入松本細	\		

評価表作成者 | 教育委員会 社会教育課 │ 辻 健二郎

1. 事業の概要

市内遺跡発掘調査

出土金属器保存処理業務の委託

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

埋蔵文化財の現況把握と圃場整備事業との円滑な調整を図るための事業 出土した金属器の保存処理の実施

②事業を実施する必要性

埋蔵文化財はその地域の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない文化財である。したがって、開発との円滑な調整を図りつつ、適切に保護することは、重要な行政的課題である。 出土した金属器は、日々劣化が進むため、保存処理を実施し、保管する必要がある。

3. 事業費の推移

					単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額			千円	9,864	6,128	5,078	4,087	3,050	2,000	2,000		
う ⁷			職・臨時		千円	5,500	3,121	2,858	1,854	1,053	1,000	1,000
財	使用	料•	手数料	等	千円	700	0	0	0	0	0	0
源	国	• 府	支 出	金	千円	6,412	4,500	3,750	3,000	2,250	1,500	1,500
内	地	ナ	ī	債	千円	0	0	0	0	0	0	0
訳	ı	般	財	源	千円	2,752	1,628	1,328	1,087	800	500	500
職	員 等	の従	事 人	員	人/年	I	0.52	0.32	0.52			
人		件		費	千円		3,426	2,203	3,836			
事	業	費	総	額	千円		6,433	4,424	6,069			

[※]事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。

4. 主な事業費の内訳

発掘調査員賃金 1,854,110円(賃金) 機械運搬料他 621,006円(役務費) 出土品保存処理業務委託 999,600円(委託料)

機械器具借上料他 403,410円(使用料及び賃借料)

5. 事業結果の概要

野条遺跡調査 保存処理業務委託

[※]千円未満を四捨五入し表示しているので、合計等が一致しない場合がある。

6. 活動の詳細

C : 7D 20 C 7 D 1 4E		
発掘調査		
府営圃場整備事業に伴い発掘調査を実施 ・野条遺跡 (八木町野条)	22.7.8~8.30	調査区を4箇所設定し遺跡の広がりを確認した。
保存処理		
出土遺物の保存処理を実施 ・財団法人元興寺文化財研究所に委託	22. 10. 4~23. 3. 10	処理点数3点
立会調査		
発掘調査の届出を基に開発事業との調整を図る。	22. 4. 1~23. 3. 31	埋蔵文化財に係る届出総数 45件。このうち立会調査 を17件実施。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

埋蔵文化財と圃場整備事業との円滑な調整を図るため実施 出土品の保管及び公開の必要性

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

埋蔵文化財と圃場整備事業との円滑な調整を図るため実施 出土品の保管及び公開の必要性

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 事業の支出分担等仕事分担について協議を行った。
- ②当該事業のアピール事項
- ② 国 該事業の アピール 事項 開発事業との円滑な調整を図るためにも必要な事業 ③ 反省点、今後の展開・方向性 出土した資料並びに保存処理を実施した資料について、活用を進める必要がある。